

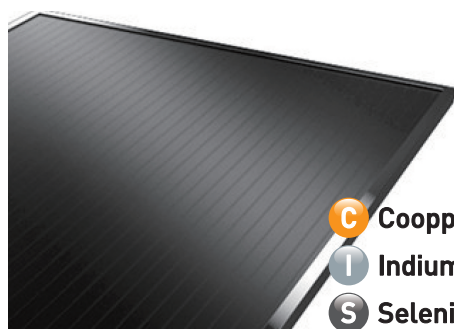
「省エネと創エネ」

太陽光発電



「実発電量」が高いCIS太陽電池

「実発電量※1」とは、屋根の上で実際に発電する量のこと。



C Copper 銅
I Indium インジウム
S Selenium セレン

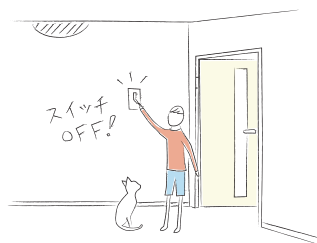
【CIS太陽電池】

CIS太陽電池は、主成分に銅(Copper)、インジウム(Indium)、セレン(Selenium)を使用。3つの頭文字をとりCISと呼ばれています。

屋根に設置された太陽光発電システムが実際に発電する量が「実発電量※1」。よく耳にする「変換効率」は、一定条件下※2での太陽電池モジュールの性能のこと。日本でこの条件と同じ状態になるのは、1年間にわずか2～3時間程度。通常の晴天時でも、太陽から届くエネルギー量は、この条件の6～8割程度です。また、直射日光を浴びた太陽電池モジュールは温度が上昇し、条件で設定されている25℃を上回ることが大半。だからソーラーフロンティアは、理論上の数値よりも、「実発電量」の多さを追求しています。

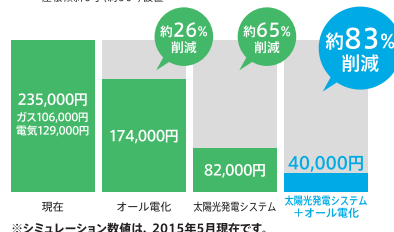
1

自然の力で光熱費を節約します



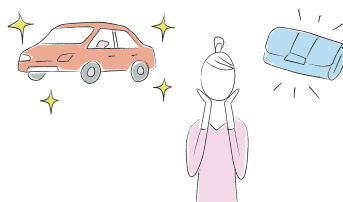
太陽光発電システムを設置することで、ご家庭の光熱費を節約。また、ご家族皆さまの省エネ意識を高めることができます。

■現在の年間光熱費との比較イメージ(ガス+電気併用)※1
条件/東地区4.86kWシステム(LX2B-270H:18枚設定)、南面、屋根傾斜6寸(約30°)設置



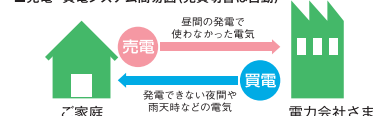
2

余った電気は売電できます

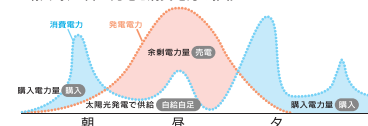


昼間に発電して余った電気は、電力会社さまへ売電ができます。
※系統連系契約については、各電力会社へご確認ください。

■売電・買電システム簡易図(売買切替は自動)



■晴天時、1日の発電と消費電力の推移



※1 実発電量は、お客様の設置環境によって異なります。

※2 太陽電池モジュール温度25℃、放射照度1000W/m²等